

原水爆禁止2014年世界大会へのメッセージ

原水爆禁止世界大会実行委員会の皆様におかれましては、「核兵器廃絶」と「世界の恒久平和」を訴えるため、日頃から平和運動に取り組み、深く敬意を表します。

広島、長崎に人類史上初めて核爆弾が投下されて、間もなく69年になります。しかしながら、今なお多くの方々が原爆による病気や障害に苦しんでおられる現状を見ると、私たちはこの地上から戦争、核兵器を根絶しなければならぬと決意を新たにしております。

ご承知のとおり、本県は太平洋戦争末期、国内最大級の住民を巻き込んだ地上戦が行われ、20万人余の尊い命が失われました。

特に糸満市は、沖縄戦最後の激戦地となり、当時の本市人口の約30%を超える1万1千人余りが戦禍の犠牲となりました。

このような歴史的背景を持つ本市は、戦争の悲惨さ平和の尊さを内外に広く啓発し、次代へ正しく継承していく責務を強く認識する中で「ひかりのまち、みどりのまち、いのりのまち」を基本理念に掲げ、「糸満市平和祈念祭」や「130万県民平和の光事業」など、平和を希求する事業を幅広く展開しているところであります。

我が国は、戦後69年を経て、平和で豊かな国をつくりあげて参りました。しかしながら、未だ世界各地においては、地域紛争、テロが蔓延しており、加えて核の脅威も未だ拭えない状況にあります。

そのような状況の中、「核兵器根絶」、「世界の恒久平和」の実現のため、行進されておられる皆様に改めて、敬意を表する次第であります。

我々は今一度「平和とは何か？」を皆様と共に考えながら、真の世界平和に向け一層の取り組みを行い、平和の尊さを次代へ継承していきたいと考えております。

結びに、この大会を契機として、「核兵器廃絶」、「恒久平和」が全世界に広がることを念願するとともに、「原水爆禁止2014年世界大会」が所期の目的を達成されますことを心よりお祈り申し上げます。

平成26年7月1日

糸満市長 上原裕常